



今期より、三越伊勢丹支部 本社周辺分会・新宿分会・日本橋分会担当が連携し、メンバーの声を集約した上で、労使での意見交換をおこなっています。

本社周辺分会・新宿分会・日本橋分会NEWS

第1MDグループ

2025
3

Vol.3

3・3(月)開催 ギフトデザイン営業部職場懇話会報告

ギフトデザイン木室営業部長にご出席いただき、24年度の振り返りと25年度以降の取り組み・組織再編の目的などについて伺いました。またVOICEなどでのメンバーの声をお伝えし、意見交換をおこないました。

Topic 01 24年度の業績の状況などについて(抜粋)

	24年度歳暮売上
予算比	93.3%
前年比	91.5%

ギフトの商売の中でシェアが大きい直近の歳暮の商況については、クール便の客受け送料をいただき始めたこともあり、これまでのトレンドも含め苦戦しました。

新宿・日本橋などギフトセンターでの受注やB to Bの商売も厳しい状況ではありますが、ギフトのビジネスはスケールメリットがあつての商売であるため、両本店の売上維持を目指し、地域店への支援をおこなっていくことで、ギフト全体の売上維持もしくは、少しでもプラスの状況を目指していきたいと思ひます。

Topic 02 今回の組織再編および25年度以降の取り組みについて(抜粋)

「ギフトデザインが2030年に目指す姿」については、有志メンバーと話し合いを重ねて策定しました。今回の組織再編については、現状の組織課題を踏まえ、目指す姿に向け、アクションプランを推進するために実行していきます。

店頭(販売)メンバーには、IRより前に方向性(店舗が館業から個客業への転換を目指す中で、生産性を向上させながら個客業に取り組む旨)をお伝えしています。

■2030年に目指す姿(会社資料より抜粋)

気持ちを伝える文化をアップデートするギフトカンパニー



Topic 03 【組合より】メンバーの声共有

『新たな取り組みにチャレンジをしたいと思っています。そのためには、より安心して提案できる職場風土になるといいと感じています。』

11月マネージャー集合で、目指すチーム像として【楽しく仕事が出来、誰でもやりたい事にチャレンジできるチームになる】と説明しました。その後12月~1月に、これまでステージBに行っていた1on1MTG を、ステージC・メイト社員(希望者)にも実施し、本人がやりたいことや職場状況について直接話を聴くことができました。仕事に対してはさまざまな思いや考え方があるので、今後も会話をおこなっていきます。ポジティブな意見が出た時には、担当者を中心に考える職場になるよう、雇用形態関わらず全員が営業部の目指す姿を自分事として考えられるよう伝えていきたいと思ひます。